

考える力を 一生の財産に。

高め合う個性、響き合う創造性。
切磋琢磨できる友、刺激し合う仲間と過ごす聖徳ならではの6年間。

スタートはこれから。

考える力を育てるために
一人ひとりを『理解してくれる先生』、
教えるのではなく『考えさせる授業』、
『能力の限界に挑戦できる』環境がここにあります。

考え続ける習慣は
広く深く学ぶ教科指導と、
学校生活の中に散りばめられています。

一番効果的な時期に
知能を育て、創造性を磨いていく。

『考える力を一生の財産に』

聖徳学園小学校の教育は
未来を切り拓いていく我が子への
“最大のギフト”となるでしょう。

校長からのメッセージ

18,000分の1、
唯一無二の教育

校長 大河内 浩樹



国内には、小学校がおよそ1万8千校あります。この中で、「知能教育」を主眼に骨子として教育を行っているのは、聖徳学園小学校だけです。最新の知能教育理論に基づいた独自の知能教育システムを開発して50年以上実践し続けています。

頭と心の成長期は一生に一度だけ、3歳から10歳ぐらいまでの期間に起こります。

しかし、この大切な時期は目には見えないため、その価値を見過しがちです。

初等教育（小学校）の段階こそが、教育効果が最も高いのです。この期間に知能を高める英才教育と非認知能力を育てる心の教育を受けることでお子さんの可能性が広がっていきます。お子さんが活躍する未来には「考える力」が不可欠です。

「考える力」を一生の財産として手に入れるチャンスがこの学校にはたくさんあります。

「考える力」で日本を、世界を支えていく人材を育ててまいります。



児童からのメッセージ

個性と探究心を育む
聖徳学園小学校

2025年度児童会長 篠崎 智也 くん

聖徳学園小学校は、何よりも児童のやりたいことを尊重してくれます。もちろんそれが間違っていたことであれば、しっかり正しい道に戻してくれます。そして好きなことを大切にしてくれる聖徳だからこそその「不思議で」、「飽きることのない」授業があり、必ずみなさんの興味を引く科目が見つかります。クラブや特別研究などの特別な授業もあり、そこでは授業内容を発展的に深く掘り下げ、好きなことをさらに追究することができます。授業だけでなく、魅力的な行事もたくさんあります。宿泊行事である3年生から始まる「林間学校」や「スキー学校」、4年生の「イングリッシュキャンプ」、4泊5日の「修学旅行」、校内行事である「ゲーム大会」、「百人一首大会」、「計算力大会」や「聖徳祭」があり、そこでは集団生活のルールを学び、クラス一丸となって目標に向かって努力することの楽しさを知り、自分がまだ知らないこと、やっていないことへの興味を引き出してくれます。また、自分の好きなことばかりでなく、周りのことも考えて行動できる心や力を身につけていきます。校舎内には、さまざまな実験器具のそろった理科室や、コンピュータールーム、蔵書17000冊を誇る図書室もあります。このように聖徳学園小学校は、好きなことをとことんやりたい僕たちを応援してくれますし、「周りと違う」ことを責めず、むしろ伸ばしてくれます。ひとつひとつの個性がまばゆく光っているこの聖徳学園小学校で、自分自身の個性を磨き、やりたいことをぜひ見つけてください。

教育目標

お子さんが、これからの変化の激しい時代に対応し、幸せな人生を歩んでいけるよう、また自分の強みを活かしていけるよう、個性的で創造的知能に優れた人間を育てています。

- 一人ひとりの個性を育てる
- 知能を伸ばし、創造性豊かな人間性を育てる
- 正しい心、優しい心、たくましい心を育てる

この明確な教育目標を達成するために、長年のノウハウとメソッドのもと教育活動を行っています。

聖徳の「英才教育」が目指しているもの

お誓い三か条

- 一、われわれは 未来をひらく戦士となり
新しい世界を 開拓します
- 一、われわれは 恥と涙をわきまえて
光明正大に行動します
- 一、われわれは 祖国の伝統を重んじ
祖国と人類のために つくします



考える力を一生の財産にする

天才的な頭脳の持ち主とこれから天才になる資質を持った子どもたちを集め、ギフテッド教育（英才教育）を施していきます。聖徳の英才教育が他のギフテッド教育と違うところは、友達と一緒に集団として取り組める児童を集めて、その中で刺激し合い、化学反応を起こし、能力を高め合うことです。



非認知能力の育成

学校目標である『正しい心、優しい心、たくましい心を育てる』を実現するために、非認知能力の育成を重視しています。小学校時代に育てた目標を立てる力、積極性、社会性（人間関係力）、忍耐力、持続力などが人生の支えになるはずで。



知能を伸ばし、学習の器を大きくする

「学習の器（うつわ）」とは、学力や生活力を向上させる土台となるものです。自分なりの課題や目標を見つけ、学習を深めていく力を伸ばします。



一人ひとりの個性と能力に応じた指導

全国の小学校に先駆け「少人数クラス」「教科担任制」「複数担任制」を実施し、その実績は学校の財産であると同時に、社会的にも高く評価をされています。

見通し文カルタの再生



知能教育 (知能訓練)

最新の知能教育理論に基づいた独自のメソッドを実践しています。

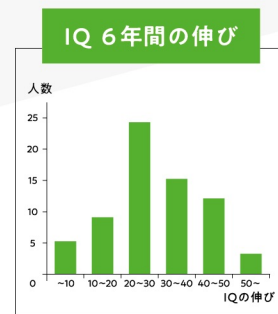
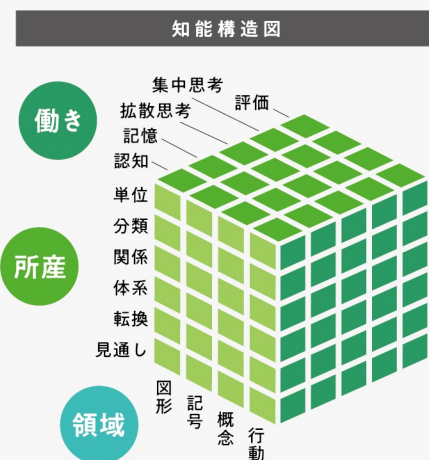
人間の知能は、教育によって発達すること、知能教育は早期に行うほど効果が高いこと、知能には様々な因子があり、そのすべてに刺激を与えることが重要であるとわかっています。こうした研究成果を踏まえ、本校では、アメリカの知能心理学者ギルフォード博士の理論に基づき、独自の知能教育システムを開発し、実践してきました。また、独自に聖徳式知能検査を2000年に開発。以後、毎年約600人の検査を実施しています。

知能因子を1つずつ効果的に刺激する授業です。

ギルフォード博士は、知能因子には3つの面があると説明しています。①考える「領域」には4つの因子、②考える「所産」には6つの因子、③考える「はたらき」には5つの因子があり、全部で4×6×5=120の因子があることになります。知能訓練はその内90因子を抜き出し、独自の教材を作成し、パズルやゲーム、プリント形式で刺激を与える授業です。

成果は知能指数の伸びに現れます。

知能教育の成果は、知能指数 (IQ) の著しい伸びとして現れ、本校の5・6年生の平均知能指数は160～170 (聖徳式) に達します。また、知能指数の伸びは、思考の幅の広がりや意味し、高学年になるにつれ高度になる本校の授業内容に対応でき、学力の向上につながります。長年の実践から知能と学力との相関が高いことも証明されています。その成果は、希望する進学の実現にも現れます。



IQ... 聖徳式知能構造検査法による知能指数

グローバル教育

国際社会で活躍できる人材育成を目指し、本格的な英語力を育てていきます。

子どもたちが社会に出る20年後は今以上に世界的規模での交流が盛んになり、国というよりは地球的視点が強く意識されるようになると思われます。その潮流により、今にグローバル教育 (国際理解教育) という言葉も使われなくなってしまうでしょう。聖徳で行っているのは英語に慣れる、親しむだけではなく、高めた知能を社会に生かすコミュニケーション力をつける授業です。そのため次の取り組みを行っています。



聖徳学園小学校のグローバル教育の取り組み

- 1年生から英語の授業を実施
- 1クラスを2分割した少人数授業
- 学習効果を最大限にする習熟度別クラス
- ネイティブ教員の配置
- 定期テストの実施
- オーストラリア国際交流の旅 (4年生以上希望者)
- 成田イングリッシュキャンプ
- 英検の実施

リーダーシップ教育

コヴィー博士が提唱する『7つの習慣』に基づく、一人ひとりが主体的に行動するためのリーダーシップ教育。

いくら考える力が身についたとしても、理屈ばかりであったり、自分のことしか考えないのであれば、聖徳の目指している教育目標や『お誓い三か条』と相容れるものではありません。知能と心の両方を育てていくことが聖徳の教育の柱です。スティーブン・R・コヴィー博士が提唱する『7つの習慣』に基づく、『リーダー・イン・ミー』を取り入れ、リーダーシップ教育を行います。リーダーシップ教育とは、一人ひとりが自分自身のリーダーとなり、主体的に行動できるように成長を促します。さらに将来、自分の強みの分野で世界のリーダーとして活躍できる資質を伸ばしていきます。

リーダーシップ教育により、次の力を育てていきます。

- 向上心
- 責任感
- 適応性
- 率先力
- リーダーシップ (主体性)
- チームワーク力
- 自発性、自らによる方向決定



『完訳 7つの習慣』スティーブン・R・コヴィー著 キングベア出版
『まんがでわかる 7つの習慣』まんが/小山鹿梨子 監修/フランクリン・コヴィー、ジャパン宝島社



教科ごとの取り組み



国語教育

聖徳学園小学校の国語科では、「成長に合わせて言葉も変わる」と考えます。従って、教えるべき内容や言葉、文章が先にあるのではなく、目の前の子どもの感情や精神の発達の実態把握の後に、適切な課題と方法があります。そのような授業、関わり方によって子ども達の「ことばの力」を引き出していきます。



数学教育

「算数」ではなく、「数学」と言っています。より深く、広く学ぶことを意図しているからです。時間をかけて考えていけるように、授業時間は90分です。また、1~3年生は二人指導制、3年生から習熟度別クラスを実施し、児童たちの力を最大限伸ばしていきます。6年生の10月までに6年間の指導内容を終え、それ以降はまとめや発展的な内容を行います。



英語教育

英語教育の特色として、1年生から週1時間、2年生から週2時間、5年生から週3時間（内1時間は外国人教師の授業）の授業時間、日本語を原則使わない英語での授業、クラスを半分に分けて少人数での授業、5・6年生は習熟度別クラスでの授業があげられます。これらの教育システムにより、英語に親しむ、慣れるのではない、本格的な英語力を育成します。



理科教育

「生活科」を教科としては取り入れず、1年生から「理科」として授業を行っています。観察や実験を6年間で150回以上行うなど、直接経験を重視しながら、科学的な見方、考え方を養います。時には、かつて科学者たちが長い年月をかけて苦労に苦労を重ねて発見したり確認したことを児童に経験させることもあります。



地理教育

地理では、それぞれ（3~5年生）の発達特性に応じた「視野・視点の拡張」をねらい、「鳥瞰図的視点の獲得」「空間的な広がり」の把握を目指していきます。高学年になるにつれ、場所と場所、国と国の関係など、国際社会にも目を向け、様々な角度から思考する態度を養成しています。



歴史教育

本校では全国で唯一、歴史教育、地理教育としてカリキュラムを組んでいます。それは中学校で習う学習の前倒しではなく、「昔話を聞いて場面絵を描く」ということから始まり、「人物伝学習（人物の一生と社会との関わり）」、そして、日本通史を学びます。修学旅行では授業で学んだ吉田松陰ゆかりの地を訪れます。

クラブ活動 4年生以上の児童は一つのクラブに所属し、活動を行います。

文化部 器楽部 ゲーム・百人一首部 工作部 鉄道研究部 パソコン部

運動部 野球部 サッカー部 バドミントン部 バスケットボール部

教科ごとの取り組み



美術教育

造形への関心を高めるような様々な素材を使ったカリキュラムを実践することで、感性を高め、創造的知能を育みます。作品の鑑賞及び物作りを通じて手を動かすことの楽しさや、表現することの奥深さを体験します。日々の生活の中での感動や自由な発想を、色や形で形象化していきながら、豊かな心と個性を育てていきます。



音楽教育

様々な音楽活動を通して得られる豊かな音楽体験、音楽のもつ芸術的特性である美的感覚体験の分かち合いを大切にしながら、その体験から生まれる心の解放感、協調性、社会性、創造性、探究心などを活かす授業を展開しています。音楽が豊かな自己実現に活かされ、働く力となるよう留意しています。



体育教育

近年の研究で、脳を育てていく上で運動がとても重要であることが分かりました。体育に必要な活動の一つ、有酸素運動によってBDNF（脳由来神経栄養因子）が分泌され、脳が活発になり、脳神経細胞の成長を促進していきます。また小学校でこそ育てていきたい「調整力」を効果的に、発達段階に見据えた内容で行っています。



家庭科教育

5、6年生の家庭科の授業では、衣食住に関する体験を通して日常生活に必要な知識や技能を身につけていきます。様々な活動の中にも、児童たちの個性を生かし、創意工夫する力を発揮できるよう指導していきます。児童たちは楽しみながら学び、家庭生活を大切にする心性を育んでいきます。



特別研究

本校の児童は知的好奇心や意欲が旺盛で、好きな教科に対して踏み込んだ学習の意欲が育まれています。そこで、5・6年生を対象として特別研究の時間を設け、規定の学習の枠にとらわれずに児童の創意工夫を活かした自由で大胆な研究学習を指導し、一人ひとりの個性や能力を伸ばします。

※国語・数学・英語・理科・地理・歴史・家庭科・音楽・美術から興味に応じて児童自ら選択します。

週あたりの授業時数

教科	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年
国語	7	7	6	6	6	6
数学	6	6	6	5	5	5
英語	1	2	2	2	3	3
理科	2	2	3	3	3	3
地理	0	0	2	2	2	0
歴史	0	0	0	1	2	3
知能訓練	2	2	2	2	0	0
体育	2	2	2	2	2	2
美術	2	2	2	2	1	2
音楽	2	2	2	2	1	1
家庭	0	0	0	0	1	1
特別研究	0	0	0	0	2	2
※特別活動	1	1	1	2	1	1
朝礼・道徳	1	1	1	1	1	1
総数	26	27	29	30	30	30





教育の成果

本校の知能教育は、中学校への進学はもとより、大学への進学にも大きな効果を発揮しています。さらに、社会での活躍の原動力にもつながっています。想像してみてください。お子さんの30年後の姿を。

中学校の 主な 進学先

国立

- 筑波大学附属駒場中
- 筑波大学附属中
- 東京学芸大学附属国際中
- お茶の水女子大学附属中

公立

- 都立小石川中
- 都立武蔵高等学校附属中
- 都立三鷹中
- 都立富士高等学校附属中

詳細はWEBサイトをご覧ください。



私立

- 慶応義塾中
- 麻布中
- 開成中
- 暁星中
- 早大高等学院中
- 渋谷教育学園渋谷中
- 中央大学附属中
- 桜蔭中
- 女子学院中
- 桐朋中
- 海城中
- 巣鴨中
- 浦和明の星中
- 吉祥女子中

教育関係者からのメッセージ

聖徳学園小学校という奇跡

人間の人間たる基盤は言葉です。この場合の言葉とは母語（母国語ともいう）です。私たちは母語で考え、感じ、表現します。人間が言葉を手に入れたことは奇跡です。この母語の重要性を訴えてきたのが故上原輝男（玉川大学）先生です。上原先生は母語を伸ばすカリキュラムを聖徳学園小学校のために作りました。聖徳学園小学校ではそれが50年近く経った今でも継承されています。これも奇跡です。英才児が与えられた（gifted）才能をさらに伸ばすには、高度に高められた母語が必要です。今審議が進んでいる「学習指導要領」では、日本でようやく英才児への教育についての議論が始まりました。しかし、聖徳学園小学校でははるか昔から、英才教育に特化したカリキュラムを実践しており、多くの人材を輩出してきました。英才教育の議論も実践も遅れた日本において、この聖徳学園小学校の歴史こそ、一番の奇跡と言えるでしょう。



広島大学名誉教授 / 安田女子大学教授
難波 博孝氏

卒業生からのメッセージ



1994年度卒業

卒業後学歴：筑波大学附属駒場中高卒業 / 京都大学理学部卒業
京都大学大学院生命科学研究科博士後期課程修了（博士・生命科学）
経歴：京都大学 iPS 細胞研究所（CiRA）、パリ高等師範学校・ソルボンヌ大学での海外研究生活を経て、CiRAで発明した技術シーズを基に創薬基盤スタートアップを起業。
現職：株式会社イクスフォレストセラビューティクス 共同創業者 代表取締役社長 CEO

櫻田 俊一さん

聖徳学園小学校は、知的探求力と社会貢献の志を育む場でした。理数系科目では個々の習熟度に応じて限界なくスキルを伸ばす一方、歴史では一人の人物に時間をかけ、修学旅行でゆかりの地を辿るなど丁寧に学び、人生の意思決定に資する教養を深めました。「いい大学・会社」で終わらず、不確実な次世代を切り拓く人間力が培われたと感じます。

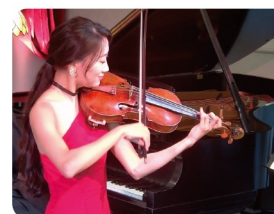


2007年度卒業

卒業後学歴：慶應義塾普通部 / 慶應義塾高等学校 / 慶應義塾大学法学部政治学科卒業
現職：NHK アナウンサー

菊田 一樹さん

聖徳小を一言で表すと「子どもの可能性が広がる場所」です。先生たちは、子どもと同じ目線に立ち、全力で向き合ってくれます。「やってみよう」という好奇心に対して、「子どもだからダメ」と言われた記憶はありません。たとえうまくいかない結果になろうと、最後まで一緒に、隣で、試行錯誤してくれます。だから次の「やってみよう」が生まれます。社会人となった今でも色鮮やかに思い出せるあの日々は、私の原点です。



2009年度卒業

卒業後学歴：聖徳学園中学校 / 桐朋女子高等学校音楽科 / 桐朋学園大学 / ベルギー王立レメン音楽院修士課程首席卒業。
経歴：全日本ジュニアクラシック音楽コンクール第1位他多数上位入賞。2023年12月デビューアルバム「Shirabe」発売。
現職：バイオリニスト
現在：日本クラシック音楽コンクール全国大会審査員。調DUO・調TRIO・調QUARTET結成、全国で公演を行う。

調 雅子さん

私は聖徳学園で出会ったバイオリンをきっかけに、自分の「好き」を見つけ、努力し、続けることでバイオリニストになりました。知能訓練や90分授業、自由研究など、個性を大切に伸ばしてくれる学びの環境が、集中力や継続力の土台となっています。「好きなことを仕事にする」その原点が、ここ聖徳学園小学校にありました。



1997年度卒業

卒業後学歴：ジョンズ・ホプキンス大学卒業
現職：病理研修医・米国在住

長女 園 怜理さん

1999年度卒業

卒業後学歴：ジョンズ・ホプキンス大学卒業
現職：シリコンバレー IT 企業勤務・米国在住

長男 園 宜哲さん

聖徳学園には生徒の親として、国際的にも稀に見る手厚い補助を頂きました。子供達が喜々と持ち帰る学びの風土に親も加担せねばと思いつち、時々連絡帳に授業内容の不明点を書いては先生方から「大人の宿題」を頂きました。今の娘・息子の成功があるのはこうして「共に学ぶ」家庭環境を育めたお蔭です。



2011年度卒業

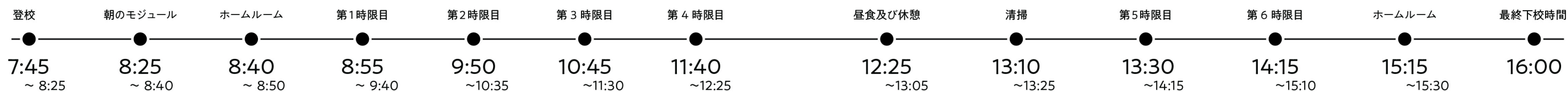
卒業後学歴：雙葉中学校・高等学校卒業 / お茶の水女子大学理学部数学科卒業
経歴：第80回日本物理学会にて学生優秀発表賞を授賞
現在：東京大学大学院工学系研究科博士課程在学

高井 優衣さん

私の知的好奇心と思考力は、聖徳での学びを通して育まれました。どの授業でもただ正解を教えられるのではなく、まず生徒一人ひとりが考え、アイデアを出し合い、対話を通して思考を深めていきます。その積み重ねが、物事を自分の頭で考える姿勢と、新しい問いに向き合い続ける知的探究心を自然と身につけてくれました。人生の中で興味の対象は少しずつ変わってきましたが、その時々で「やりたい」と思ったことに素直に向き合ってきた結果が、今の私につながっているのだと思います。今の自分を形づくってくれた聖徳に、心から感謝しています。



※下記は標準時程で、曜日によって若干異なります。※3年生以上は6時間授業になります。



お弁当の注文

学園内食堂で手作りの“出来立てお弁当”を用意しています。食堂へ自分で買いに行きます。



安全対策

児童の安全を守るために数々の安全対策を実施しています。



防犯に関して

24時間警備員常駐、防犯カメラ設置、登下校メール配信システム（校門通過時）、武蔵野警察とのホットライン『学校110番』設置、武蔵野市市内安全パトロール隊『ホワイトイーグル』による巡回、不審者侵入訓練の実施。

防災に関して

校舎の耐震化、緊急地震速報機導入、防災用品や非常食の備蓄、携帯電話所持の許可、家庭への緊急メール配信システム、登下校安全カード（緊急時の対処方法・連絡先など）の必携、緊急避難校ネットワーク加入、地震・火災時の防災訓練の実施。

学校行事

個性や創造性を伸ばす行事が、
子どもたちの思い出になり、
家族の思い出になります。



- 4月 入学式
新入生を迎える会
- 5月 校外授業
修学旅行
- 6月 公開研究発表会
- 7月 林間学校(3~6年)
イングリッシュキャンプ(4年)
- 8月 夏休み
国際交流の旅
- 9月 自由研究展
- 10月 運動会
- 11月 聖徳祭
- 12月 冬休み
- 1月 百人一首大会
- 2月 スキー学校(3~5年)
- 3月 卒業生を送る会
卒業式・卒業を祝う会

制服 UNIFORM

学習着 CASUAL CLOTHES



冬服 WINTER



夏服

SUMMER



音楽室

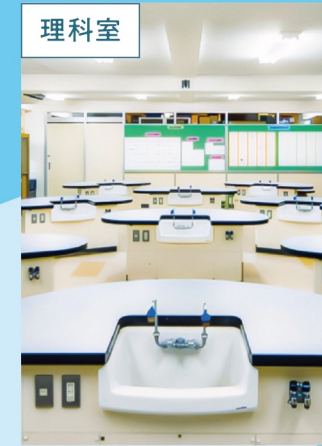


図書室



授業中、休み時間を問わず、児童たちが使いたいときに自由に使えるように、いつも開放されています。専任の司書教諭がいるので本の案内も受けられます。

理科室



プレイルーム



鉄道模型

施設 FACILITY

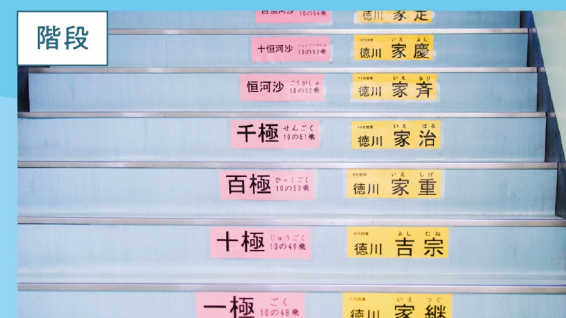
校庭



講堂



階段



化学記号や数の単位、歴代の徳川将軍の名前など、目につく所からも知的好奇心を刺激します。

工作室





放課後から午後7時までお子さんをお預かりします！

TKC 聖徳学園小学校アフタースクール

トレジャー・キッズ・クラブ

TKC(トレジャー・キッズ・クラブ) 聖徳学園小学校アフタースクールは、平日の下校時間から午後7時までの間、校内の施設を利用し、安心安全に子どもたちが遊びや学びを行う「放課後の学校」です。課外活動や各種のプログラム、おやつも用意されており、異学年交流の場ともなります。1年生から6年生まで、各ご家庭のご希望に合わせてご利用いただけます。

利用対象児童

聖徳学園小学校に在籍する
1年生から6年生まで全児童が対象です。

開校日時

月曜日から金曜日までの平日。
および、学校休業日(春休み、夏休み、冬休み、振替休日)。
平日は、下校時間~午後7時。学校休業日は、午前9時~午後7時。

※ 料金は、ご利用プランによって変わります。
※ 詳しくは、株式会社セリオ「聖徳学園小学校アフタースクール担当」まで、お問い合わせください。

TEL 03-6264-9757 (直通)

スケジュール

※「レギュラー会員」は、毎週利用する会員。「ライト・レギュラー会員」は、毎週利用し、課外教室にも参加する会員。
※ 18:30~19:00 は、延長料金となります。

	16:00	17:00	18:00	19:00					
レギュラー会員	5時間授業	受付	自由遊び	おやつ準備・片付け	プログラム	帰りの会	駅送り	プログラム自由遊び読書	駅送り
	6時間授業	受付	おやつ準備・片付け	プログラム	帰りの会	駅送り	自由遊び読書	駅送り	
ライト・レギュラー会員	5時間授業	課外教室	受付	おやつ	プログラム	帰りの会	駅送り	プログラム自由遊び読書	駅送り
	6時間授業	受付	おやつ準備・片付け	課外教室	帰りの会	駅送り	プログラム自由遊び読書	駅送り	

プログラム

TKC オリジナルプログラムです。他にも書道や脳活、表現活動など。放課後を楽しく学び、社会に通じるチカラを養います。

スポーツプログラム



新しいスポーツから昔ながらの遊びまで多様な種目を実施します。体力作りと健康の維持を図るだけでなく、チームでの運動プログラムを行う事で協調性とチームワークの重要性を学びます。

アートプログラム



様々な材料を用いて絵画や工作などの制作活動を実施します。子ども達の表現力と想像力を刺激し、心の成長も促します。季節のイベントと連動した制作活動により日本固有の文化にも触れていきます。

サイエンスプログラム



子ども達の“なぜ”を解決するプログラムです。知的的好奇心と不思議に思う心を「学び」へと変えていきます。学ぶ楽しさを伝え、好奇心を満たし、科学の原理と楽しさを伝えていきます。

課外教室

放課後の学びの場として、4つの課外教室を行います。



STEAMキャンパス

STEAM機会では論理的思考を育む
1年生では社会で活躍する機会機構の仕組みをブロックで実験を繰り返したり、ニーズに合わせたモデル製作とプログラミングを行ったり、解決方法を体験しながら、社会とのつながりを意識する活動を行います。2年生以上では運動エネルギーや機械工学を導入し論理的思考を養います。異なる立場や視点を体験し、クリティカルシンキングを高めるレッスンを展開します。



剣道教室

剣道を通して、
子どもの心身を育てる
剣道教室では、①心をみがくこと②身体を鍛えること③技を身につけることを目的として稽古に励みます。自分自身の向上のために努力を続けることで集中力や忍耐力を養います。また、相手への礼儀、尊敬の気持ちを持つことで協調性と社会性を養います。



英語教室 <https://www.eccjr.co.jp/>

目指すのは、『世界標準の英語力』
グローバル社会を生きる子どもたちにとって、英語は「話せたら役に立つ」から「話せて当たり前」という存在になろうとしています。子どもたちに必要なのは、目先の成績や試験のための英語力ではありません。コミュニケーションを図る力である『生きた英語』が求められています。



アートキッズ

集まれ、アート大好きっ子！
聖徳アートキッズでは、絵画を中心に様々な表現を体験し、想像力や発想力を育みます。また、じっくりと課題に取り組む事で、確かな技術や知識を身につけながら、観察力や表現力を養います。カリキュラムを通して、豊かな創造性を獲得してほしいと思っています。

※STEAMキャンパスは(株)ラーニングシステム、剣道教室は聖徳学園、英語教室はECCジュニアが運営します。それぞれ別料金のプログラムとなっています。

聖徳幼稚園

教育にこだわる方、
頭と心の成長期を逃したくない方、
入園、転園後のお子さんの
成長を想像してみてください。



教育の特色

自由形英才教育

聖徳の英才教育は単なる早期教育ではありません。お子さんの知能が伸びやすい頭の成長期に合わせて行っています。また、画一的、強制的に行われる他園の英才教育とも違います。子どもが好きな遊びを主体的に取り組んでいく自由形の英才教育です。

非認知能力を育てる心の教育

経験豊かな教員のもと、子どもたちが刺激的な友達との交流を通じて社会性を身につけていきます。また、園生活の日々の中で、思いやり、忍耐力、自主性といった重要な非認知的能力が育まれます。



6つのカリキュラムあそび

知能あそび

まるでゲームのように楽しい独自教材で、知的好奇心を高め考える力を育てます。

リトミックあそび

音楽を聴いて感じて動くことを通じて、個性の発展と創造力、表現力を育てます。

造形あそび

作り出す喜びと子どもの個性を大切にしながら、豊かな感性と創造性を育てます。

英語あそび

歌やダンス、会話を楽しみながら、英語力の土台を育てます。

体育あそび

夢中になる遊びと発達に応じた運動を通じて、基礎体力と健康な身体を育てます。

理科あそび

身近な自然に触れ、科学への興味と関心を引き出し、探求する楽しさを味わいます。



園生活

保育時間

- 午前 8:45~午後 2:00 まで (月・火・木・金曜日)
 - 午前 8:45~午後 1:30 まで (水曜日)
- 登園時間は、午前 8:45~9:25 です。土曜日は休園日です。但し、園行事等の関係で登園日になる場合もあります。

預かり保育 (有料)

- 延長保育制度。午後 6:30 まで。
- 早朝保育。(両親就労のご家族) 午前 7:45 から
- 春・夏・冬の長期期間は(株)セリオへの委託保育となります。

給食

週4回(火・水・木・金曜日)給食を実施しております。学園内食堂で調理した給食です。週1回月曜日はご家庭のお弁当です。

通園バス (有料)

通園バスを運行しています。運行範囲は、中央線沿線の南側東小金井駅付近から三鷹駅付近まで、北側は桜堤付近と三鷹駅北口までです。詳しくは、事務室にてご確認ください。

課外活動 (有料)

個性教育を充実させるために、次の4つの教室を開設しています。

- 英才教室
知能を伸ばし、創造性豊かな子どもを育てることを目標にして、専門的な知能教育を行います。
- 剣道教室
剣道を通して健康な体と健全な心を育成します。
- ECCジュニア英語教室
コミュニケーションを図る力である「生きた英語力」を育てていきます。
- スティームキャンパス
レゴエデュケーション教材を使った活動を通して、クリエイティブな問題解決力を養います。

聖徳学園 英才教室

聖徳学園の英才教室は、
非認知能力の育みにより、
生き抜く力の源になる知能を育てます。



教育の特色

1. 知能を構造的に育てます
2. 知的好奇心を育てます
3. 意欲と集中力を育てます
4. 非認知的能力を育てます
5. オリジナル教材で育てます
6. 少人数で能力別にクラスを編成します

教室の概要

英才教室は2歳児から5歳児まで、
他園在園中のお子様もご入会いただけます。



対象年齢

2歳児・3歳児(年少)・4歳児(年中)・5歳児(年長)
※聖徳幼稚園の在園にかかわらず他園のお子様もご入会いただけます。

教室編成

- 3名から5名の少人数能力別編成
- 2歳児…3名まで
 - 3歳児(年少)…4名まで
 - 4歳児(年中)…5名まで
 - 5歳児(年長)…5名まで

授業頻度

1週間に2回の授業を行います
※①月曜と木曜、②火曜と金曜、③水曜と土曜の3コースです。

授業時間

1回50分間

評価面接

年3回
※年間3学期の各期末に担任面接により、知能を高めるアドバイスをいたします。

知能検査

年1回
※1年に1度の知能検査を行い、お子様の知能の発達状況を確認します。

一貫教育

幼小連携の実施
※幼小一貫した知能教育を実施。聖徳幼稚園の知能あそびから聖徳学園小学校の知能訓練まで、ギルフォード博士の知能理論に基づく一貫した知能教育を行っています。長期にわたる知能教育を施すことで、考える力を一生の財産にします。

優先入学

幼稚園及び小学校
※聖徳幼稚園及び聖徳学園小学校への優先入学制度により、一定の基準内であれば優先入学できます。

聖徳幼稚園



WEBサイト



園生活



入園・入試情報



幼稚園の詳細な内容は、WEBサイトをご覧ください。

聖徳学園 英才教室



WEBサイト



取り組み・教材など



入室情報



英才教室の詳細な内容は、WEBサイトをご覧ください。